



## 日立市コミュニティ推進協議会

### 新たな時代にふさわしい持続可能な市民が求める活動へ

今年3月に「第2次コミュニティ活動の在り方検討委員会」が市に行った提言に沿って、現在、市と共に行動計画を策定中です。また、日立市コミュニティ

推進協議会の役員改選が行われ、新しい時代にふさわしい組織、活動で会を充実させ、23コミュニティが市民に必要とされることを目指します。

#### 大きく変化している地域環境 対応する市との協働体制の構築

日立市コミュニティ推進協議会は、市内23学区・地区の会長で構成し、コミュニティ間の連絡、意見交換及び共同事業の計画、実施をとおして、住みよいまちづくりに寄与することを目的としています。

社会情勢や地域を取り巻く環境が大きく変化している中、解散、退会、未組織などにより、自治会や町内会の加入率が更に低下してきました。

また、コミュニティでは一人暮らしや認知症高齢者等の見守り・支援などの地域福祉活動、災害時に備えた避難所開設等の初動体制の確立などの防災活動、子どもを守る防犯活動など、活動は多岐にわたっており、コミュニティと関係課所との協働体制の構築が、これまで

以上に重要になっています。

コミュニティ推進協議会の定期総会で、令和3・4年度役員が選出され、新体制で新たな活動へのスタートをしました。

#### 地域課題の解決へ

#### 会長 泉 聡二

「自分の地域は自分の創意と努力でつくり上げる」という本協議会の理念を市民の皆さんと共有できるよう、コミュニティ情報紙「こみこみ」をはじめとする様々な媒体をとおして情報発信していきたいと考えております。

今年3月に市へ提言を行った「第2次コミュニティ活動の在り方検討委員会」では、本協議会からも委員として参画し、「新たな時代にふさわしいコミュニティ組織」、「市民が求めるコミュニティ活動」、「市民意識の醸成」を3つの柱とした取

組をまとめました。

6月からは、提言内容を踏まえた具体的な行動計画を市とともに検討しています。



地域の状況が大きく変化している中で、一人暮らし高齢者の見守り、災害への対応など、地域における課題は年々高度化、複雑化しております。

これらの地域課題の解決に向け、各関係機関と連携し、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

#### 令和3・4年度 役員

- 会長 泉 聡二
- 副会長 秋山竹彦、鈴木東男
- 幹事 岩間廣道、西 英信、  
神谷九二男、森山和雄
- 監事 須田育愼、石川善憲

### 時代のニーズに応える持続可能なコミュニティ 皆さんと一緒に作る！住んでいてよかったと思えるまち

地区・学区	会長	交流センターTEL
十王	川井 健一	39-2411
豊浦	大場 進一	43-5755
日高	志賀 勝弘	42-4050
田尻	大森 健一	42-1552
滑川	遠藤 進	22-1654
宮田	岩間 廣道	27-6835
中里	石川 諒一	70-8005
仲町	大畑 信一	21-5564
中小路	吉岡 保夫	22-6483
助川	秋山 竹彦	23-0955
会瀬	須田 育愼	25-1577
成沢	西 英信	35-5587

地区・学区	会長	交流センターTEL
油繩子	白玉 敏夫	38-7531
諏訪	持田 幸雄	33-3841
大久保	岡部 光雄	34-0535
河原	鈴木 東男	33-3746
塙山	西村ミチ江	34-5404
大沼	神谷九二男	35-8329
金沢	泉 聡二	36-3985
水木	森山 和雄	52-3225
大みか	小松 信保	53-5211
久慈	石川 善憲	52-0165
坂下	大貫 健	52-3155

※お問合せ、ご相談は交流センターへ

#### コミュニティFMで情報発信中！

FMひたちでは、コミュニティのイベント情報、交流センターの最新情報などを紹介しています。コミュニティのメンバーであるあなたに、とてもお得な情報もりだくさん！

#### ■FMひたち (82.2MHz)

#### ■番組名

日立市コミコミ情報局

#### ■毎週月曜日

午後5時30分頃から

このほか市報やケーブルテレビJWAYでも、地域情報を随時発信しています。

## 日立市コミュニティ活動推進行動計画を策定中 “今後10年間のコミュニティ活動の在り方”

令和2年1月からスタートした、第2次となるコミュニティ活動の在り方検討委員会では、コミュニティ推進協議会からも委員として参画し、「新たな時代にふさわしいコミュニティ組織」、「市民が求めるコミュニティ活動」、「市民意識の醸成」を3つの柱とした取組をまとめた提言書を、今年3月に市長へ提出しました。

この提言書は、基本方針を「コミュニティ活動を中心とした支えあいのまち ひたち」とし、「つながる」をキーワードに、持続可能なコミュニティを目指すというもので、新たな時代にふさわしいコミュニティ組織などについて提言しています。

そして今年度、この提言内容を踏まえた具体的な取組を推進する、「日立市コミュニティ活動推進行動計画」を策定するため、市と

もに内容を検討しています。

6月に開かれた市との合同会議では、コミュニティ推進協議会の泉会長をはじめ、副会長、幹事など、の計7名の役員が出席し、今後10年間の取組の方向性について協議、「組織、活動の活性化・明確化」や「全世代の居場所づくり」などをテーマに、活発な意見が交わされました。



この行動計画には、今後の10年間に市が取り組む具体的な内容が盛り込まれ、計画に掲載された各取組について、毎年、検証を行いながら進められる予定です。

## LED防犯灯市へ移管手続き 952団体、10,441灯

日立市内の防犯灯は、これまで町内会や自治会等が設置し電気料を負担してきましたが、10月から、LED化された防犯灯（LED防犯灯）は、日立市へ移管されることとなりました。

この移管手続きに関する説明会が今年5月に実施され、それぞれ管理する町内会や自治会等は、市への移管手続きを行ってきました。

7月31日現在、手続きがあったLED防犯灯は952団体、10,441灯です。移管手続きは随時受け付けていますので、早めの手続きをお願いします。

10月からは市と地域の役割分担により、LED防犯灯が新たな管理体制で運営され、安全で安心なまちづくりが推進されます。

### 市の役割

町内会や自治会等が所有しているLED防犯灯を、市が移管を受けて所有、電気料を支払う。

### 地域の役割

町内会や自治会等及びコミュニティは、LED防犯灯が故障した際の市への連絡、照明をさえぎる樹木の剪定や、新規防犯灯設置の要望の取りまとめを行う。

### 【これまでの経緯】

LED防犯灯の移管は、平成23年度の「行政とコミュニティ活動のあり方検討委員会」からの提言を受け、実現したものです。町内会等の未加入世帯が増加していることから、電気料を市が負担し、維持管理は地域が行う仕組みをつくり、役割分担をして電気料や管理に関する地域の負担軽減を求めました。

行動計画の策定や検証を市とコミュニティが共に行うことで、市内全学区・地区への情報提供や、他の地域での取組事例の共有などが図られ、コミュニティ活動の更なるレベルアップにつながることを期待されます。

## もっと日立が好きになる！ 日立の魅力再発見ウォーク開催

秋の恒例行事となった日立の魅力再発見ウォークは、今年で23回目を迎えます。各コミュニティが地域の特色を活かした魅力的なコースを企画しています。

学区・地区	開催日
河原 子	10月16日（土）
宮 田	10月17日（日）
大久保	10月23日（土）
豊 浦	10月23日（土）
久 慈	10月23日（土）
油 縄 子	10月24日（日）
諏 訪	10月24日（日）
水 木	11月6日（土）
仲 町	11月14日（日）
田 尻	11月14日（日）
会 瀬	11月14日（日）
中 里	11月14日（日）
助 川	11月17日（水）
中 小 路	11月23日（火）

コースの内容や申込みなどの詳細については、市報やコミュニティ推進協議会ホームページなどをご覧ください。お住まいの地域に関わらず、どのコースにも参加できます。秋の爽やかな一日、日立の魅力に触れながらウォーキングしてみませんか。なお、新型コロナウイルスの状況により、中止・縮小する場合があります。



## 学校運営協議会 すべての小・中・特別支援学校へ

日立市学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）は、平成29年度モデル校として会瀬小学校と駒王中学校に導入され、今年度、すべての小・中・特別支援学校に設置されました。

### 会瀬学区

会瀬小学校は、学校運営協議会が始まってから、今年度で5年目に入ります。昨年度はコロナ禍で学習支援が中止されたほか、職員の異動などがあったため、次のように改めて申請確認を行い、活動を再開しました。

- ① 学年の授業などの希望や要望を記載した申請書の作成
- ② 教頭先生が窓口となり地域コーディネーターへ依頼
- ③ 地域コーディネーターが地域ボランティアに書面で依頼

④ 地域ボランティアは先生と打合せを行い、授業に参加

今年度は、3年生の社会科「わたしのまち みんなのまち」で会瀬漁港見学、5年生の家庭科で玉留め、玉結び、なみ縫い等の基本学習、6年生の「海の学習会」で会瀬海岸にまつわる話と砂の造形活動を支援。漁港見学では、マンボウやサメも釣れること、網の種類、網をつないで漁をすることを学習しました。

### 塙山学区

塙山小学校運営協議会は6月28日、第1回会議が行われ、「チーム塙山」で子どもたちの豊かな成長を育むことを確認しました。地域コーディネーターを置き、学校とボランティアとの調整役を担い、授業の支援にあたっています。

今年度は、書写指導（毛筆）、3年生の総合的な学習（郷土の偉人、塙山のまちづくり）、全学年の防災教室へ防災士派遣、3つのクラブ活動、支援学級を対象とした月1回の読み聞かせ、PT



Aが20年続けている全学年対象の読み聞かせを支援。読み聞かせには、地域から11名が読み手として応援しています。

今年度は地域学校協働本部の新たな方針が示される予定です。学校運営協議会を円滑に運営するために、学校と地域が更に連携、協働し成果が上がることを期待します。

## 3つの配布方法で市報全戸配布に向け準備 23コミュニティはいずれかの方法を選択

日立市では、10月5日号から市内のすべての世帯に市報が配布されることになりました。

令和3年3月29日のコミュニティ推進協議会会長会議では、この「市報の全戸配布事業」を進めるため、日立市広報戦略課から説明がありました。4月以降、全戸配布の実施に向けて配布方式の最終的な意向の確認や、事前準備を進めるための様々な調整を市とコミュニティで行ってきました。

市報は、市民に市の情報を伝える重要な媒体です。市報をすべての市民に配布する体制が整うことで、市報と同時配布している各種お知らせなども、地域の全員に配布することができるようになります。コミュニティ情報も、市報と同時配布すれば、これまで以上に広く周知することができ、コミュニティ活動に参加する意識の醸成等

につながることも期待されます。

### 3つの配布方法

各コミュニティは、次の3つの配布方法のうち、いずれかを選択します。

#### ①事業者ポスティング

事業者が学区内におけるすべての世帯の仕分け、配布を行う。

#### ②町内会併用ポスティング

従来の町内会等による配布に加え、従来方式で配られていない未配布世帯に、コミュニティが配布員を選任して配布を行う。

#### ③単会ポスティング

コミュニティで配布員を選任して配布を行う。

それぞれのコミュニティでは、10月からの全戸配布に向けて、広報戦略課と打ち合わせを行いながら様々な準備を進めています。円滑なスタートに向け、課題をひとつずつ整理していきます。

## 市役所職員80名 コミュニティ活動体験研修

日立市役所職員を対象とした「コミュニティ活動体験研修」を今年度も予定しています。例年、入所1・2年目の新任職員による体験となっていましたが、今年度から、市の業務遂行の中心的な役割を担う監督職員を新たに対象に加え、合計80名の職員が参加する研修となります。

事前研修でコミュニティ組織と活動の概要を学んだ後、職員自らがコミュニティに出向き体験。例年は、夏祭りや敬老会などに参加することが多く、研修をきっかけに地域のほかの行事に参加するようになるなど、地域をつなぐ一助となっています。

なお、現在、本研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間延期しています。実施できるようになることを祈り、各行事やイベントなどの準備を進めています。



## 交換留学生 地域の人たちに 母国の言語や文化を紹介

JR大甕駅の西側に広がる茨城キリスト教大学のキャンパス。昨年、大甕駅の西口・東口のリニューアル工事が完成し、茨城キリスト教学園の正門も西口正面にできました。

キャンパスには大学だけでも4学部8教科あり、多くの学生を抱えるとともに、海外の大学とも提携し、交換留学生が滞在しています。

ヨーロッパ、アジア、オセアニア、北米などの60を超える海外提携大学との間に、交換留学、海外語学研修、海外文化研修など、広く国際交流が進められています。

交換留学では、毎年4月または

9月から一年の期間で留学生が滞在、交換留学生は母国の大学で日本語を習得していて、日本の学生等との会話に不自由はしません。逆に交換留学生が母国の言語や文化を紹介する講座を日本の学生や



伝統文化に触れる留学生

地域の人たちに提供する機会がつけられています。

毎年、地域・国際交流センターで、ベトナムの交換留学生がベト

ナム語教室を開き、初歩のベトナム語や文化を紹介しているのもそのひとつです。

このようなつながりの中で、大みか学区コミュニティ推進会が年初めに実施している「もちつき大会」に、交換留学生がボランティアで参加する、楽しい交流も行われました。

また、大みか交流センターで毎月開催されるシニア大学では、今後ベトナム交換留学生によるベトナムの言語、文化などを紹介する教室を実施する予定です。

大学にはベトナムのほか、韓国、中国、インドネシア、キルギスからの学生が新たに来日する予定で、交換留学生とのさらなる交流が続いていきそうです。

## くじ元気ふれあい広場 子どもたちに人気のパンポンコート

日立市の公共施設のリニューアルでは、素敵な場所に生まれ変わったところがたくさんあります。



新設のコートで楽しむ親子

令和3年2月にオープンした「くじ元気ふれあい広場」もそのひとつです。この広場は常磐線の線路東側下にあり、電車がすぐ上を走っていきます。線路西側の後ろに広がる林が赤羽緑地で、鳥のさえずりが聞こえ、春には緑地の方から桜の花びらが舞ってきます。すぐ近くには富士神社、くじ児童

公園、南部図書館もあり、閑静で恵まれた環境が備わっています。

くじ元気ふれあい広場は、旧久慈体育館閉館後の跡地をリニューアルしたものです。多目的広場になっており、舗装された遊歩道、健康遊具、パンポンコートなどが設けられています。

広場の横には弓道場があり、ちょっと風格あるたたずまいをみせています。2面整備されたパンポンコートは子どもに人気広がりがつつあります。

久慈学区コミュニティ推進会では7月末日に、このコートを活用した夏休み子ども体験教室を開き、日立市体育協会が協力して、パンポンのマイラケットづくりと試し打ちを楽しみました。久慈学区外からの参加者もあり、3回の開催で合計60名を超える人たちが体験しました。コロナ禍で油断できない状況でしたが、子どもたちは夏

休みの楽しい思い出もできました。

駐車場も備えた広場は、久慈学区コミュニティ推進会が朝夕、施設管理しています。広場奥の物置にはパンポンのラケット、ボールが常備されていますので、ふらっと行っても楽しめます。

### 敬老高齢者元気応援事業 80歳以上の方に生活応援品

新型コロナウイルス感染が長期化する中、不安な生活を送られている高齢者に、元気・活力を取り戻してもらうため、敬老高齢者応援事業として、23の学区・地区コミュニティの実情に応じた生活応援品（品物または学区内限定振興券）をお贈りします。対象者は80歳以上の高齢者です。

すでに生活応援品、マスク、市長や地域からのメッセージなどが届いた方もいるかもしれません。お楽しみにお待ちください。